

世代を越えて輝ける社会をめざして

年齢とともに身体機能が低下したり、周囲とのつながりを失うことで、不安や孤立感を持つ高齢者は少なくありません。高齢者が充実して過ごせることは、希望ある社会を形成する上で大切なこと。また、高齢者の豊かな経験と知識を共有できないことは若い世代の損失でもあります。私たちは、世代間の交流や共生をテーマにした活動を支援します。

世代間交流「寺子屋回想法」

高齢者のこころの活性化を促す試みとして、高齢者と若い世代が集い、同じ体験を通して語り合う場を設けたり、教材のビデオを制作しています。高齢者には、自分の記憶を若い人々に伝え、受け入れられることによって自分自身の人生を価値あるものと再確認することにつながります。また、若い世代にとっては、人生の先輩から大切なものを学ぶ機会となります。お互いの存在を認め合いながらこころを支え合うことをめざしています。

支援団体：上智大学総合人間学部黒川研究室



✓ リーダー養成ワークショップ

高齢者と若者世代の豊かな交流をめざした「寺子屋回想法」を全国各地へ広げていくために、その地域、その人ならではのプログラムを企画・運営できるリーダーを養成するワークショップを開催しました。参加者たちは一定期間の実践の後、発表会でお互いの活動を共有し、さらに効果的な取り組みをめざします。



✓ 教材ビデオ制作

「三世大家族」「寺子屋回想法」「おいから学ぶ」の3種類を制作しました。寺子屋回想法の実施を検討する地域や学校などで教材として使用されています。

